



# 福音丸新報

No. 96  
2022年  
2月17日

日本バプテスト同盟内海部会・瀬戸内海伝道団  
委員長:石塚多美子  
722-2411  
広島県尾道市瀬戸田町  
瀬戸田378-1  
瀬戸田バプテスト教会内

## 巻頭メッセージ

### 「主にすぎる我に悩みはなし」

マルコ12章42〜44節

向島キリスト教会 大谷孝志



長い間、伝道師、牧師として働いて来ましたが、最近になってようやく、主イエス様が私の傍にいて、私の全てをご存じで、必要な時に必要な事を示して下さると心から信じて、素直に「イエス様」と呼び掛けられるようになりました。これまでの私は、目の前のことをすることで精一杯でした。自分の事は自分でしなればならないと思い、主にすぎり切れなかったのです。

マルコ十二章に主イエス様が献金箱の向かい側に座り群衆の様子を見ていた時、一人の貧しいやもめがレプタ銅貨二枚を献じたことが書かれています。主はわざわざ弟子達を呼び寄せて、「この貧しいやもめは、献金箱に投げ入れている人々の中で、だれよりも多くを投げ入れました」と教えました。彼女をほめたのです。

レプタ銅貨は当時の最小通貨です。主はそれが彼女の全財産とご存じでした。でも彼女は、やけになってその全財産を投げ入れたのではありません。主は彼女が全てを神に委ね、すぎる思いで献じたその思いをこ存じだったから、その信仰の大切さを教える為に彼らを呼び寄せたのです。

彼女は何故、全財産を献じたのでしょうか。それを神が喜ぶと信じたからです。何の保証もありません。でも信じたのです。それが神が喜ぶ信仰と教えられます。

この記事はこの女性が劇的に変わったかどうかを問題にしているのではありません。聖書は彼女の行為をあなたはどうか見るか、あなたならどう生きようとするのかと、私達に問い掛けています。

主はルカ十八章の大金持ちに「まだ一つ、あなたに欠けているものがある」と言いました。私は自分を見て、足りないものだらけの人間と思っています。でも聖書は私に、あなたに足りないものは、たった一つなのですと語り掛けて来ました。

そうです、主に期待し、主に全てを委ね、主にすがれば良いのです。そこに私達内海部会の希望があり、将来があるからです。

聖歌498に「主にすぎるわれに悩みはなし」とあります。確かに小さな教会の群れです。世にある限り、不安や恐れはあります。でも私達が信じている主は、ルカ十二章三二節で「小さな群れよ恐れることはありません。あなたがたの父は、喜んであなたがたに御国を与えて下さるのです。」と言います。その主にすぎりましょう。主はすぎってくる私達を喜んで受け入れ、必要な時に必要なものを与えて下さいます。ハレルヤ!

二〇二二年  
新年礼拝

# 部会行事報告

omで繋ぎ、トゥン・カン・クップ師のメッセージを広島平和キリスト教会から配信して行いました。参加は、向島キリスト教会8名、広島平和キリスト教会が5名、瀬戸田バプテスト教会が2名でした。メッセージの後、交わりと祈りの時を持ちました。部会としては初めてのリモートでの集会であり、実際に集まれなかったのは残念ですが、新しいデジタル技術を用いた方法にこれからの交わりの可能性を感じました。

(向島 綿谷 剛)



2021年 新年礼拝 リモート集会



定期総会 於：向島教会

## 定期総会

内海部会総会は、新型コロナウイルス感染症の状況が小康状態の中、四月二十九日に向島キリスト教会で行うことができました。コロナ禍の中で残念ながら、夏期レクリエーションや講演交換は今年度も取りやめることとなりましたが、信徒研修会をオンラインで行う提案がなされ、インターネット設備のない教会についてもスマートフォンで接続する際の通信費の助成等についても話し合われました。また、福音丸新報については、これまでクリスマス前の多忙期に作成することが難しいこともあり、クリスマスの様子も合わせて掲載することとし、二月の発行に変更することとを決議しました。また、委員の改選が行われ、以下の委員が選出されました。

石塚多美子師・委員長(瀬戸田)、大谷孝志師(向島)、トゥン・カン・クップ師(広島)、綿谷剛兄(向島)、水戸川佳子姉(向島)、山根幹枝姉(広島)

(向島 綿谷 剛)

## 賛美と証しと祈りの会 「瀬戸の海からリバイバル」

十一月二十三日(火)、「賛美と証しと祈りの会」が「瀬戸の海からリバイバル」というテーマで持たれました。例年、内海部会では、この時期に信徒研修会を行っていますが、昨年度は新型コロナウイルス感染症が広がる中で集会を行うことができませんでした。今年度はぜひ、各教会の交わりを持ちたいというこで、Zoomで繋いでリモートで集会を持つことになりました。

Zoomでは瀬戸田教会、向島教会、広島平和教会と、小豆島の中井真澄姉のスマートフォンを繋いで行われました。リモートでの集会はまだ慣れず、音声が出なかったり、マイクの音が小さく聞き取りにくかったりといくつかのトラブルがありました。主にある兄弟姉妹が離れたところにあるまま、久しぶりに繋がり合えることがとても不思議で楽しい時間でした。

集会は石塚師の司会で行われ、今年度の主題聖句である「コロサイの信徒への手紙3:14」の朗読の後、賛美と証しを交互に行ってプログラムが進められました。

賛美は、昨年度発行した「内海で生まれた讚美集I」から、「瀬戸の海か

ら」「今が主のとき」「主は言われる

「あなたの声のする方へ」「いま主をたたえよ」を歌いました。Zoomでは音ずれがあるので、ギター伴奏を行うサイトのマイクのみをオンにするこで、互いの歌声を聴くことはできませんでした。一緒に賛美することができ感謝でした。

証しは向島教会の水戸川佳子姉と谷岡秀樹兄、広島平和教会の山根幹枝姉がして下さいました。証の内容は第4面に掲載しています。

賛美と証しの後、「分かち合いの時」を持ち、各教会の状況について報告し



賛美と証しと祈りの会 リモート集会

合い、「祈りの時」を持ってお互いの教会の課題のために祈り合い、クップ師の祈りをもって集会を閉じました。

(向島 綿谷 剛)

## クリスマスカード

二〇二二年度から、福音丸新報の発行を十二月から二月に変更することに致しましたが、毎年発行を楽しみにしてくださっている方々、ご支援を頂いている方々に、発行時期変更のお知らせを兼ねて、クリスマスカードをお送りさせて頂きました。日頃からの祈りとご支援に感謝致しております。

(向島 綿谷 剛)



「その光は、まことの光で、世に來てすべての人を照らすのである。」  
(ヨハネによる福音書 1章9節)

福音丸新報の発行を12月から2月に変更することをお知らせします。  
クリスマスおめでとうございます。私共の働きを賞え、祈り、救済をお送り下さり、心より感謝申し上げます。コロナ禍の中でも皆様と共に、それぞれの教会と関係のある教会の交わりの中で、私達の主イエスキリストの御臨在をお祈りできることを感謝致します。主は今も全ての人を照らす真の光として、世に輝いておられます。

私共瀬戸内海伝道団は、毎年クリスマスに「福音丸新報」を皆様にお届けし、この一年の内海部会の様子をお知らせしてきました。しかし、部会内教会のクリスマスのお祈りをお知らせしたいの思いが強く、発行時期を変更し、翌年度以降「96」号を発行する運びになりました。二ヶ月後にお届けします新しい「福音丸新報96」を楽しみにお待ち頂ければと思います。皆様方が主の豊かな祝福のもと、良いクリスマスを迎えられますようお祈り申し上げます。  
2021年12月25日 日本バプテスト同盟内海部会・瀬戸内海伝道団

## 二〇二二年 新年礼拝

二〇二二年一月十日午前十時半から十二時十分まで、内海部会新年礼拝と交わりの時をリモートで行いました。参加は、向島キリスト教会9名、広島平和キリスト教会10名、瀬戸田バプテスト教会2名でした。礼拝担当は瀬戸田教会で、石塚多美子がメッセージでした。賛美は、内海賛美集の奏楽やリードなど、クップ先生と綿谷さんにもお願いして、オルガン、ギター、ピアノと多様な伴奏となりました。礼拝後、参加者一人一人のお声を聞き、各教会を覚えて祈りの時をもちました。主に



2022年 新年礼拝 リモート集会

あるつながりを感じたいします。

(瀬戸田 石塚多美子)

## 女性会

今年度はいろいろ新しい事が、たくさんありました。五月の恒例の総会は文書となりました。皆様の近況報告を掲載し、交わりの一端としました。原稿依頼にはご協力下さりありがとうございました。又、その他の連絡・お願い事には各教会にファックスを送付しました。近々の課題では全国女性会委員長・副委員長の推薦の件がありました。委員は幹事の北村さんを核にメールで連絡しあい、リモートで全国女性委員会を進めています。十一月には各教会で「ACWC世界祈祷日」を持つことができました。内海は各教会で女性が集い、祈りを合わせました。今年度は、「関西地区の世界祈祷日集会」をリモートで行うということで内海部会にも案内がありました。女性たちが祈りを合わせることで女性の働きのパワーアップにつながることを教えられています。十二月には広島平和教会女性会でクリスマスカードを作成し、送付しました。見えないところで細かい働きをされておられる女性牧師や姉妹方に感謝します。高齢者委員会の活動も各教会で進められていると思います。

次年度に向け、課題等整理できればと思います。

(広島 野村篤子)

## 教師会

主の御名をほめたたえます。今年もコロナ禍で講壇交換など、何もできず、心が痛いですが、どんなことが起こってもいつも最善をして下さった主に感謝します。

教師会の活動としては、六月十五日(火) 全国教師会、七月十三日(火) 部会教師会、説教者は石塚多美子師、九月十七日(金) 部会教師会、説教は大谷孝志師、九月十八日(火) 関西・内海教師会、十月十一日(月) 十二日(火) 三バプテスト合同牧師・主事研修会、全てオンライン(Zoom)でした。お互い、教会の様子などを聞いたり説明したりした後、一緒にお祈りをしました。部会の全ての教会にクリスマスカードを送りました。

(広島 トウン・カン・クップ)

## 講壇交換報告

部会では年に一回、講壇交換を行っていましたが、今年も新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、中止となりました。

(向島 大谷孝志)

# 証し・分かち合ひ

## 転入会の証し

十月十七日、向島キリスト教会で藤木ゆか姉の転入会式が行われました。転入会に先立ち、証しをしていただき、全員の賛同と祝福の中、教会員として共に歩むことになりました。

向島キリスト教会  
藤木ゆか



私は二〇二二年十月、バプテストマを受けました。

きっかけは、家庭の事で悩んでいた時にクリスチャンである姉に高島チャペル（福山市）を教えてもらい行き始めた事でした。

そこで、主イエス様の「あなた方を耐えることの出来ないような試練に会わせるようなことはなさいません。むしろ耐えることの出来るように試練とともに脱出の道も備えて下さいます。」すべての疲れた人、重荷を負って

る人は私の所に来なさい。私があなた方を休ませてあげます。」というみことばに出会い、涙があふれ出てきました。

そして、「主イエス様を信じよう」「私もクリスチャンになりたい」と思うようになり、バプテストマを受けました。

それから4年程、主イエス様を信じ、礼拝を守らせて頂いていたのですが、二〇〇六年、福山から向島に引っ越してからは、足が遠のき、十五年近く教会から離れていました。

去年の夏、初めてこの向島キリスト教会に来させて頂いたのですが、それ



藤木ゆか姉 転入会式（向島）

も姉の勧めからでした。三年程前から体調を崩し、入退院を繰り返し、あげくのはては自宅で転倒し、右手を骨折しました。

その時、姉がお見舞いに来てくれて、「一緒に教会に行ってみよう」と言い、背中を押してくれました。

あれから一年あまり、この教会のみなさんが遠くから見守ってくださり、やさしく、つつみこんでくださり、そして何より、十五年近く教会から離れ、そっぽを向いていた私を、主イエス様は見捨てず、こうやってまた教会に導いてくださった事は感謝しかありません。

気管支が弱く、肺炎になりやすくて、体調はまだ万全ではありませんが、少しずつ仕事も出来るようになり、日々感謝しながら向島キリスト教会のみなさんと共に主イエス様を信じ、祈り続けていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

## 賛美と証しと祈りの会

十一月二十三日に行われた「賛美と証しと祈りの会」で3名の方が証しをして下さいました。そこで行われた証しを紹介いたします。

向島キリスト教会

水戸川佳子



主の御名を賛美します。

今回は向島キリスト教会の礼拝での様子をご紹介します。コロナ禍で気がつけながらの礼拝ですが、不思議なことに礼拝の出席者数が増えたと見捨てず、こうやってまた教会に導いてくださった事は感謝しかありません。

どのくらい前からだったか、私は神様の私たちの教会に与えられた、会堂が人であふれるというビジョンを受けました。礼拝出席者数が今の2倍になった時に、私たちはその方達に対処できるだろうか。神様からミルクばかりではなく硬い食べ物を食べるように訓練されていたのを実感します。それを実践に移す、今がその時でしょうか。

内海部会としても、石塚多美子先生を中心に「瀬戸の海からリバイバル」をモットーに、様々な取り組みにチャレンジしています。力のない私ですが、祈りながら教会員や内海部会の方々と奉仕していけたらと考えております。

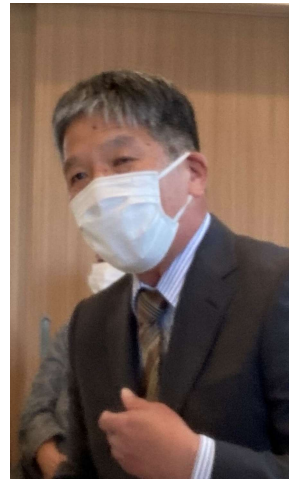


向島キリスト教会  
谷岡秀樹



私が教会へ20年ぶりに戻り一番感謝した事を証します。まず最初に20年近く前に広島平和キリスト教会の方に大変なご負担をかけた事を説明いたします。

それは父の病気（白血病）治療に特定した数名の成分献血者が必要となり2名の姉妹が引き受けてくださった事です。具体的には私を含め4名が約3日に一度のサイクルで行い、その期間は6か月位及びみました。しかもスケジュール



ルは3日位前に決まり、採血時間はおよそ40分から90分間かかるとも過酷なものでした。その姉妹は私が日程を伝えるとそれがどんなに無理がある日時でも常に明るく承諾してくださいました。しかも私と母にやさしく「大丈夫必ず治りますよ」と言葉をかけてくださいました、付き添いでいた母はその言葉をとても喜び救われていました。いま思い返すとそれはまさに神様の愛でした。

そんなに良くしていただいた教会を離れたのは、私の弱さのせいですが、もう2度と教会には戻れないと思っていました。でもそれからの日々も問題があるとイエス様にお祈りし多くの助けをいただきました。でも何かに怯え平安の無い日々でした。

そんな私が教会に戻る事になったきっかけは、息子の病気（ホジキンリンパ腫）でした、2年近く闘病しましたが全く治りませんでした。途方に暮れていた時、何か強い力に押され教会に行こうと思ひ立ちました。でも勇気がでず思い悩みましたが、どんな冷遇も覚悟して向島キリスト教会に行き、ドキドキしながら教会堂内に入りました。

すると牧師先生や兄弟姉妹の方々に、約20年のブランクを感じさせない歓迎をされ自然に受け入れていただき、とても感謝でした。

向島キリスト教会では礼拝前15分間賛美を行っています、その日の賛美リーダーは私が昔から存じている方でした。その賛美の時、その方が聖霊様に満たされている事が解り、私も聖霊様を感じ賛美しました。その時とても不思議な事が起きました、それは頭の中のモヤモヤが無くなりスッキリし、様々な思い煩いからその時だけ解放されたのです。そして今までに無い平安を得る事ができました。その平安は、初めは賛美の時間のみでしたが教会に通う様になつてから、徐々に礼拝中へと増え現在は日々の生活でも得られる様になりました。

私は小学生低学年から教会学校に通い、イエス様の事を知り罪許されている事は信じていましたが、劣等感、罪悪感に悩まされていきました。私が教会に戻り一番の恵みはその劣等感、罪悪感から解放され平安を与えられた事です。それはまさに「人知ではとうてい測り知ることのできない神の平安」ピリピ4：7でした。それから約2年後に息子の病気も完治し社会生活もできるまでになりました。

最後に今まで支えて下さった方々に感謝し、ここまで導いて下さった神様に感謝致します。

広島平和キリスト教会  
山根幹枝

私は、二〇一一年に病気をしてから10年がたちました。今、生かされていることに感謝しています。

この過ぎた10年、いろいろな事があり、多くの経験をさせて頂きました。自分を見つめ直し、弱さや、いろいろな感じる事の多い10年でした。

私にとって信仰は忍耐であり、ただ神様からの恵みに感謝する事なのだなと思ひました。

これからも自分にできる事を人として、落ち込まず、なんとかかできたらいなと思ひています。

「恐れるな。わたしはあなたと共にいる。たじろぐな。わたしはあなたを助ける。わたしはあなたを強くし、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る。」（イザヤ書41：10）この御言葉に支えられてきました。



# ミャンマーのために祈ってください

広島平和キリスト教会

タウン・カン・クップ

今回、福音丸新報を通して、ミャンマーのことを書くことが出来て、主に、担当者の方々に感謝します。ミャンマーは仏教徒が人口の7割位なので仏教国とも言われ、クリスチャンは人口の5%ぐらいです。沢山の少数民族が集まる国で、言葉は135もある国です。

まず、この機会を通して、私の父の経験を少し、紹介させて頂きます。私達の家族はインドと接するミャンマーのチン州に住んでいました。第二次世界大戦の時、イギリスの軍人だった父は、ビルマの独立軍（アウンサン軍）に捕まえられ、殺すために日本軍に渡されましたが、調べを受けた後、逆に日本軍に命が守られました。捕虜収容所で2年半ぐらい置かれた間、ある程度の日本語を覚え、インドの国境にあるチン州の実家（Sazang村）へ帰りました。そこにはインパール作戦で負けて戻って来た兵士が、沢山いたので、通訳の仕事をして頂き、自分の命の恩人であった日本軍にほんの少しでしたが食料を渡すことが出来て良かったと父は教えてくれました。今でも私と家族が皆さんの協力によって生

かされている事に感謝しています。父は捕虜収容所で親しくなった同じチン族の人から初めてイエス様の話聞いたのですが、クリスチャンになったのは、5年ぐらいの後、夢の中で神様の導きがあったからです。村で初のクリスチャンだったため、子どもは私まで差別されました。当時、聖書はマタイ書しか翻訳されていなかったもので、それを読み、病人の上に手を置いてお祈りすることで、病人がいやされ、悪霊に捕らわれた人も解放されました。二〇〇四年には村全体がクリスチャンになったのです。どの様な事にも諦めず、最後まで続けるのと神様が働いて下さるのです。

コロナ危機で大変な中、ミャンマーで、昨年二月一日、軍事クーデターが起こりました。それからもう1年すべてが変わり、信じられない位、国はめっちゃくちゃになりました。一四〇〇人以上の人が殺害され、拘束されている人、避難する人もたくさんいます。これまで、軍事政権がどんなに悪いかを知らなかった人々も知るようになり、知っていながら我慢して来た人々も我慢出来なくなつたのです。私の小さい時、主食であるとうもろこしが良くてできなかったため、食べ物が無くなり、兄たちが

お米が出来る隣の県へ行って買って来た時、警察の人に何回か取られました。そのため、悲しくて泣きながら祈っていた親の姿をたまに思い出します。そのように特に少数民族は不安と恐れの中で生かされて来たのです。実は70年前、ミャンマーはアジアで日本の次に発展した国でした。一九六三年、最初の軍事クーデターからどんどん貧しくなってきたのです。

二〇一〇年頃から、少しずつ、民主主義国家に近づき、二〇一五年〜二〇二〇年、スーチーさんの指導により、ある程度の民主主義の良さを経験した国民は、平和的に民主主義を戻そうとして、抗議デモ、社会的不服従運動などをしたのですが、何も変わらなかったため、武器を持つ

て戦うしかないと思っていた若者の団体がたくさん出てきました。国軍があちこちで戦争を起こし、次々と家、教会などが燃やされ、チン州では町の半分以上が燃やされたところもあります。毎日、殺害された人、拘束された人、避難者などが増え続けています。

軍事政権はどこでも受け入れられず、色々な形で抵抗を受け、時間の問題だけで、間違いなく倒れる時が来ると思います。なぜならば、今回勝たなかったら、北朝鮮のようになってしまうため、負けてはいけないという思いで皆が戦っているからです。もし、軍事政権が倒れた場合、今、武器をもっている色々な団体が一つになれるかの心配も出て来ました。今、ミャンマーは政治的、経済的な



燃えているチン州の町



避難者の方々

# やさしい神さまの部屋

ど全てのごことで、一番悪い状況に置かれていきます。その中でも神様が働いて下さり、国民のリーダーの中でクリスマスチャンが沢山出て来ました。私も少しですが架け橋として役に立つことが出来、主に感謝しています。出来るだけ早く、ミャンマーに平和が訪れますように、本物の民主主義国になりますように、今困っている人々が早く助けられますようにこれから祈って下さい。宜しくお願いいたします。

## やさしい神さまの部屋

瀬戸田バプテスト教会  
三國郁子

♪ 気持ちが暗くなったら  
叫ぼうよ イエスさまに  
ハレルヤ ♪  
何でも知ってるイエスさま  
すぐに助けてくれる  
ハレルヤ 十字架を見上げて  
ハレルヤ いっしょに歌おう  
ハレルヤ 何が起こっても  
イエスさまが いつもいっしょさ



石塚多美子牧師が、瀬戸田バプテスト教会に随分とお休みしていた「教会学校」をこの賛美歌と一緒に復活させて頂きました。

最初は2〜3名の卒園児から、そして、その友だちがまた友だちに声をかけ、次々と小学生が毎週日曜日九時〜十時の礼拝に来てくれるようになりました。

「ここは教会だけど、学校じゃないから、何か呼び名を付けたいね」という声が挙がり、それぞれが思い思いの愛称を考え、多数決で選ばれたのが「やさしい神さまの部屋」でした。

以前は「イースター」や「夏の一滴キャンプ」そして「クリスマス」と30〜40名多い時には50名を超える子どもたちが集まっていました。保護者の送迎を必要とする小学生が毎週の礼拝に繋がることは、至難の業でした。

今は、5〜6名ですが、99・9%の割合で、毎週、日曜日の朝、かわいい子どもたちが集まり、出席カードにシールを貼り（シールを20個貼り終えると教会から素敵なプレゼントが貰えます。）、自分の好きな賛美歌を選び、「今日の聖書箇所はどこ？」と熱心に付箋を貼り「付箋だらけになっちゃった」と嬉しそうに子どもたちです。

主なスタッフは、石塚多美子牧師、太田敬子姉、三國郁子姉の3人で協力し合いながら「やさしい神さまの部屋」を守っています。

礼拝後、ピアノと一緒に弾いたり、季節や行事毎の製作を楽しんだり、天気の良い日は園庭で鬼ごっこやボール遊びをしたり、日曜日の朝のルーティンになっています。

「家族でお出掛けするから今日は来れないけど、庭の柿の木に実がなったから持ってきたよ」とわざわざ教会に立ち寄ってくれるやさしい子どももいます。

出席を重ね、多美子牧師から聖書と讚美歌をプレゼントして貰い（卒園児は持っています）大切に大切に使ってくれる子どもたちです。

私自身が、博愛幼稚園時代の担任の先生であった中本宣子先生に会えるのが嬉しくて、小学生になっても、姉と一緒に毎週日曜日の「教会学校」に通っていましたので、今通って来てくれている子どもたちが、大人になっても、心のどこかに神さまの存在が残っていて、何かに躪いた時、自分の居場所を見失った時、嬉しい報告をした時、教会を思い出して、また繋がってくれることを信じ、希望を持ちながら礼拝を守っています。



♪ ハレルヤ  
いっしょにうたおう♪

次の日曜日の朝も子どもたちの元気な賛美が響き渡ることでしょう。

# 教会短信

## 小豆島バプテスト教会

私たちの教会は、今も無牧で井上正之牧師が代務者となつて下さつてから九年になります。年間3回の礼拝説教と聖餐式を予定しておりますが、コロナ感染症のためすべて取り止めとなりました。そして教会員でもある中家京子先生による月1回の礼拝、聖餐式もかなわずシラバスに切りかえて礼拝を守ってきました。その他、藤井勇次牧師から頂いた説教録音テープを用いさせて頂いております。

小豆島にコロナウィルス感染者が急増した五月、一月は家庭礼拝としました。普段の礼拝出席人数は5名で、大半が高齢者であり、自力で教会に来られないため、若い会員が送迎します。全員揃つての礼拝は楽しく、信仰を確かめ合うことができ幸いです。今年度も主題「共にいます神」「いつも喜んでいなさい。たえず祈りなさい」(テサロニケ5:16~18)を掲げています。

### 教会の行事

四月四日 召天者記念礼拝  
・生涯、主の業に励み、私たちに信

仰の遺産を残して召された方々への感謝の祈りを捧げました。

・今年度は原田哲雄さんが召されて一年近くになりました。ご家族の記に「父は、恵みのうちに88歳の生涯を終えて天国に旅立ちました。」とあります。原田さんは50年間の信仰生活を全うされ、晩年は苦しいがんと闘病生活の中にも、神様に全幅の信頼を寄せ、日々信仰深く歩まれました。その様子を、JB誌「あかしびと」欄に寄稿され、手記は二〇二〇年四月号に「咽頭がん余命6ヶ月の診断」と題して掲載され、いまだ記憶に新しいところです。氏は、私たちの信仰のお手本であり、教会の大黒柱でもありました。さまざま業務を一手に担つて奉仕された。残された私たちが今、その業務を引き継いでみて、今さらながらその大変さとご苦労が理解できます。未熟だった私どもを反省するともに、原田さんのお働きに感謝するばかりです。

十二月十九日 クリスマス礼拝  
・隣町にある日本キリスト教団の内海教会に参加させていただきました。牧師と対面での説教礼拝は今年になって初めてであり、聖餐式にも与り、感動的な礼拝でした。遠方であり、インターネットの環境整備が整つていて、若い力があふれていました。

(石本恭子)

## 向島キリスト教会

二〇二一年度も新型コロナウイルスの為、殆どの行事が中止になりました。

この一年も、向島キリスト教会は多くの恵みを頂きました。聖日礼拝の四ヶ月の平均は男4・8人、女16・7人、合計は21・5人でした。四月四日 イースター礼拝は26名が出席、コロナウィルスの感染防止の為、卵隠しと愛餐会はできず、寂しさはありましたが、多くの方々と主イエス様の御復活をお祝いでき感謝でした。

四月二十五日 教会定例役員会で

終えることができたことも感謝でした。  
五月十六日、例年通りの日程で定期教会総会が行われました。出席13名、委任状提出5名で、全ての議案が承認、可決されました。

五月二十三日、ペンテコステ礼拝で、礼拝献金を困難な状況にある神学校を覚えて献げ、送りました。  
六月一日 地域伝道の為の教会機関誌「地の塩世の光No.3」を発行しました。毎月配布しているクリスチャン新聞福音版に挟み配布しました。  
六月四日 礼拝献金を、陸軍クイーター後、困難な状況にある人々を覚え、ミャンマーバプテスト協議会に送りました。  
六月二十日 父の日をこどもの日、母の日とを合わせて「家族の日」として礼拝し、大人と子ども全員にプレゼントをしました。  
緊急事態宣言解除を受けて、七月より聖餐式を感染防止対策を徹底した上で再開しました。  
八月二十二日 教会定例役員会で藤木ゆか姉の転入会の準備に入ることが承認され、二十九日より準備会が始まりました。  
八月二十四日 家族で礼拝に出席していた客員である入院中の姉妹の容体が急変、永眠され、25日に葬儀・告別式が、十一月七日に三ヶ月記念式が行われました。  
八月三十一日、総会決議に基づき、神学校を覚えて献げられた礼拝献金



向島：イースター礼拝

二〇二一年度の主題聖句を「いつまでも残るのは、信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です」と決めました。

四月二十九日、コロナ禍の中ですが、内海部会総会が行われ、各教会の代員が向島に集まり、無事に会議を



を、神学校に送りました。

九月三十日 地域伝道の為の教会機関誌「地の塩世の光No.4」を発行しました。

十月十七日 藤木ゆか姉の転入手続きが終了し、礼拝後転入会式が行われました。

十月三十一日 向島キリスト教会女性のBWA世界祈祷日集会が行われました。

十一月二十三日 部会信徒研修会がリモートで行われ、9名が参加、当教会から谷岡秀樹兄と水戸川佳子姉が証をしました。



街角のクリスマスキャロル (尾道駅前)

十一月二十八日 教会定例役員会で松本宏樹兄のバプテストマ準備会開始が承認され、2ヶ月7回の予定で行われています。

十二月十二日 地域にクリスマス喜びを伝える「街角クリスマスキャロル」が尾道駅前緑地港湾広場で行



向島：クリスマス祝会



われ、当教会から9名が参加しました。

クリスマス礼拝と祝会の案内として、教会機関誌「地の塩世の光No.5」を発行しました。

十二月十九日 クリスマス礼拝が、教会員家族、友人を含め32名が出席して行われました。昨年はできなかった祝会が行われ、出し物もあり楽しい時がもたれました。

十二月二十四日 クリスマスイブ礼拝が14名が出席して行われました。

一月二日 新年礼拝として聖日礼拝を守り、17名が出席しました。

一月九日 新年最初の聖餐式が行われました。陪餐者は会員、客員が20名、礼拝出席は26名でした。

一月十日 部会新年礼拝がリモートで行われ、当教会から、9名が参加しました。

（大谷孝志）

## 土生バプテスト教会 & 重井幼稚園

一月十日 新年礼拝 詩編1:1

二月七日 バプテストデーの礼拝。福音丸とガリラヤ丸の船長（ピッケル船長とW・ヴォーリスの対話）



土生：平和礼拝 紙芝居



田熊認定こども園：朝の会

四月四日 イースター礼拝、五月十六日(日) 土生バプテスト教会総会。会計上の事務処理を簡素化

八月一日(日) 戦後76年 平和礼拝 故海老坪眞著「戦艦ではなく友情を」同盟制作の紙芝居

八月五日 重井幼稚園紙芝居「戦艦ではなく友情を」

八月六日 田熊認定こども園 平和礼拝 紙芝居

十月 こども讚美歌「みんなだ平和」重井幼稚園HP掲載(ユーチューブ)

田熊学園のホームページ掲載、田熊「きよしこの夜」の生まれた物語掲載。

十一月四日 田熊認定こども園



重井幼稚園：クリスマス会



田熊認定こども園：きよしこの夜の物語



瀬戸田：イースター礼拝

## 瀬戸田バプテスト教会

収穫感謝礼拝  
十一月十七日 重井幼稚園 収穫  
感謝礼拝  
十二月 重井幼稚園 聖誕劇  
田熊認定こども園 キャンドルサー  
ビス。  
十二月十九日 土生教会クリスマス  
ス礼拝  
十二月二十七日 元田熊幼稚園  
CS 小学校1〜6年クリスマス会  
(林原 弘)

二〇二二年度も、昨年度と同じく、新型コロナウイルスの影響を受け続けていきましたが、各地域での礼拝や



瀬戸田：クリスマス礼拝

一〇二二年度も、昨年度と同じく、新型コロナウイルスの影響を受け続けていきましたが、各地域での礼拝や、各地域での礼拝を大切に捧げることが出来ました。しかし、ご高齢のため、病のため、集うことが難しくなった方が一人、二人と増えてきました。牧師として、出来ることは、各地域での礼拝を大切に捧げること、集えない方々を訪ね、お祈りすること、週報を始め、お誕生日やクリスマスカードなどを発送することでした。何よりも、お一人お一人が、礼拝に集えない中でも、日々、主の御言葉に親しんでいけるように、小さな黙想集を送りました。今年度教会で掲げている「わたしにつながるいなさい」というイエスキリストのお言葉が、心にとどまっています。と祈るのみです。

クリスマス礼拝は、イースターと



原集会所

収穫感謝礼拝と同じように、子ども礼拝と合同で行いました。普段熱心に来ていた子どもたちと送迎をしてくださっているおうちのかたも合わせて礼拝が出来、励まされました。また、クリスマススイブ・キャンドルライトサービスの後は、キャロリングに行きました。毎年、ご家族一同で待っていてくださるお宅をお訪ねし、ともにクリスマスキャロルを歌いました。

## 原集会所

生口島の南、ちょうど瀬戸田と反対側にある、原の地でも、定期的に月1回の礼拝と、昨年十月より始めた祈禱会を続けることが出来ました。今年、特に感謝であったのは、大き

な樹木や、通りに面した塀際の育ちすぎた木々を伐採し、原の庭を整えることをミッションとして、八月と十月に、ボランティアが来てくださったこととすつきりとした原では、近隣の方々も集まってきて、伐採の様子を見守ってくださり、栄養ドリンクまで差し入れてくださいました。もう一つは、クリスマススの時期に、感染状況が落ち着いていたので、「クリスマススの讚美の集い」が出来たことです。いつも差し入れを下さるお向かいの方、保護者と園児、そしてちよと訪ねに来てくれていた私の友人も含め、和やかで楽しい集いとなりました。初めて、原でクリスマススの集いをしたときに買った鉢植えのツリーを庭に植えたのですが、それが、今年は背丈を超えるように成



原集会所

長していたので、みなさんに見えるようにクリスマススの飾り付けをしました。

### 大三島祈りのテラス

毎週金曜日に通い、信徒の方をお訪ねして、ともに祈り合う時を持っています。また、今年は特にテラス周りの花壇などを整えていくなかで現状にあった看板を立てることが出来ました。手作り、文字は流木を使つての趣のある看板に、通りがかる人が声を掛けてくださる時が増えました。その中で、昔会堂があったときに礼拝に来たことがあったという方、バプテストの学校に行つていて聖書を学んでいたとお話ししてくださる方も現れ、テラスでもにお



話をする機会も与えられています。与えられた土地、場所をありがたく思い、神さまがなしてくださる「新しいこと」が何かを祈りつつ待ち望んでいきたいです。

### 中島集会所

今年も、月2回の礼拝を捧げることができました。また、礼拝後の聖書を読む時、祈りの時、訪問や交わりの時も大事にしながら、中島で生きる方々とともに過ごす時を少しでも長くもつよう努めて来しました。しかし、小さな家になくさんの子どもたちを集めることになつてしまうので、「こどもクリスマス」は実施できませんでした。中島に住む子どもたちとの交わりが回復することを祈つ



大三島 祈りのテラス



中島の夕日

ています。少ない人数でも、礼拝があるときに、最優先で集つてこられるお一人お一人の礼拝を大事にする姿勢に私自身も励まされました。中島ミッションに、祈里丸も大活躍でした。「今日は、丘からう海から？」



中島集会所

とみなさんがたずねるのですが、「海からです。」というところ、うれしそうなお顔をされるのがとても印象的です。おそらく、福音丸で足繁く通われていた中本仁一先生を思い出されるのではないかと思います。来年度は一人ではなく、仲間と一緒に海から中島にいつて礼拝できますようにと祈っています。

### (安下庄礼拝について)

毎週、花咲く郷・祈りの家が開放されている限り、今年度も岩国から中川純良信徒説教者とパートナーの中川このみさんが礼拝のご奉仕をしてくださっています。時折、里帰りされた方や、近隣の方が来られた時もあります。



中島集会所



安下庄 おさなご学園



安下庄 花咲く郷・祈りの家

お一人で礼拝を捧げることがほとんどでした。現地にいらっしやるキリストを信じる方々が教派を超えてここでの

礼拝に導かれること、もちろん新しい方も招かれることを祈りつつの3年間でしたが、また、新しい礼拝と伝道の方法があるかもしれないと模索しているところ。瀬戸田との講壇交換も2ヶ月に1回予定していましたが、山口県と広島県の感染拡大状況によって、中止を余儀なくされることも多くなりました。場所は離れています。が、キリストの体としてつながっていることを意識しながら、内海部会全体でも関わっていけたらと課題をもっています。

(石塚多美子)

### 広島平和キリスト教会

二〇二一年、コロナ禍の中で迎えた1年でした。礼拝も以前の様な礼拝ではなく、私達の教会は、第一礼拝を少し早く始め、5〜6名大人のみ参加、第二礼拝は、十一時三〇分から子ども達を含む家族の参加となり、ヨチヨチ歩きだった幼児もすっかり歩く様子となり、その姿も、ゆっくり会える時間も持つ事もありました。

不安やストレスを感じながらも感染対策をしっかりとしながらミニバザーをしたり、子どもメッセージの奉仕CSの行事、女性会の集まりをする事が出来ました。ミニバザーは会員だけの参加でしたが、収益はフィ



広島平和 CS遠足

二〇二二年も刑罰を委えたコロナウイルスの為に、色々な事が今まで通りに出来ないかもしれませんが、新年

リピンやミャンマーに姉妹、牧師を通して、少額ですが献金する事が出来ました。長くお会いしない兄弟姉妹方には、クリスマスカードも手作りです。ひとつひとつ考え、工夫して、少しずつ前に進み、祈りながら、主に守って頂いてできた事に感謝致します。



ミニバザー

# 「内海で生まれた讃美」

「瀬戸の海から」を発行し、皆様

## 内海で生まれた讃美

JB「今月の賛美歌」に

礼拝で「強く雄々しくあれ」ヨシユア記1:5とメッセージがありました。主は共にいて下さいます。新しい一年、強く雄々しく歩んで行きたいと願っています。

(吉川泰子)



広島平和 原爆ドーム

お届けしました。内海部会でも各教会で、また、コロナ禍の中持たれた総会やリモート集会の中で歌われています。

二〇二一年六月に教会音楽委員会より連絡があり、コロナ禍の取り組みとして、JBにQRコードを使って賛美を紹介したいと考えており、内海で生まれた讃美集の曲を含め、新しく同盟の中で生まれた賛美を全国の皆様に紹介し、歌っていただけるようにしたので、協力して欲しいとの相談を頂きました。

何度かリモートで委員会に参加させていただき、相談させていただく中で、6月号 (Vol. 354) に「瀬戸の海から」を掲載させていただくことになり、その後いくつかの曲を紹介させていただいています。



<https://youtu.be/ZosH4KyIDh0>



<https://youtu.be/BuozRNgoGEU>



<https://youtu.be/bFiTBYY9z8>

八月には、石塚多美子師の祈里丸伝道を歌った賛美「この海を渡ろう」を紹介するため、石塚師にお願いして祈里丸に乗り込みクルージングロケを敢行。長男によるポップスアレンジの疾走感がとても合い、ワクワクするような動画となりました。タイムラグで11月号への掲載となり、季節感がずれてしまったのが少し残念です。

12月号では、新しく作ったキャロル「今日ダビデの町に」を、美登順子姉(西岡本教会)のハンドチャイムのグループ(Kobe Healing Wings)に美登姉のアレンジで伴奏をさせていただき、教会音楽委員会で四部合唱をしていただくことになりました。四部のメンバーを4つの部会からそれぞれ



<https://youtu.be/0-VKAaGsdX0>



<https://youtu.be/-YulutOAQRQ>

また、2月号では、カップ師とご長女の花(チン・ハウリヤン)さんの合作「イエス様あなたを賛美します」をご家族みんなで歌っていただき、とても暖かく楽しい賛美動画となりました。

内海部会では、「内海で生まれた讃美集I」のCDアルバムを作りたいというビジョンが与えられています。演奏者や歌い手が与えられ、素晴らしいアルバムができ、また皆様

れ出ていただくことになり、楽器の演奏、歌唱のいずれもそれぞれの場所録音していただいた音声と動画のデータをお借りして、パソコンで編集して合わせることにしました。そして、鈴木敦子姉(捜真教会)によるオルガンとリコーダー演奏曲、Kobe Healing Wingsによるハンドチャイム演奏曲をメドレーで合わせて、一つの音楽動画として視聴いただけるようにしました。

# 主は私の羊飼い (詩篇23篇)

作曲:綿谷 剛

♩=64 G D/F# B7 B7/D#

主はわたしのひつじかい わたしは

Em7 Em7/D C#m7(b5) D C B7 B7/D#

とほしいことはありません 主はわたしをみどりのまき

Em Em/D A7/C# Am7 D C D7 G

ばにふさせ いこいのみぎわにともなわれます 主はわ

C D D/C Bm7 Em

たしのたましいを生きかえらせ みな

Am B7 Em Em/D

ために義のみちにみちびかれます た

C D B7/D# Em

死のかげのたにあゆむとしても わた

C G/B Am7 G C G/B

しはわがわいをおそれません あなたがともにお

Am7 D7 G

れますから

© 2020. 9. 13 Tsuyoshi Watatani

のお手元に届けられたらと願っています。  
また、讃美集Ⅰの発行後、新たな賛美も少しずつ生まれ始めています。「主は私の羊飼い」「扉の向こうへ」の2曲を紹介します。ぜひまた主の

許しがあれば、讃美集Ⅱを発売できることを夢見ています。  
「内海で生まれた讃美集Ⅰ」は特設のホームページから、伴奏用の楽譜や、パワーポイントの歌詞、サン

プル音源をダウンロードしていただけます。  
(<http://www.333.ecnet.jp/naiikai/praisebook/>)

讃美集の冊子はまだ在庫がありませんので、必要な部数を向島キリスト教会宛にご連絡いただければ郵送させていただきます。ぜひご連絡下さい。  
(内海で生まれた讃美集編集委員)

綿谷 剛

# 扉の向こうへ

作詞：水戸川佳子 作曲：綿谷 剛

♩ = 70

F Cm7 B<sup>b</sup>M7 Gm7  
 ゆ め を 見 た か が や く む ぎ  
 ゆ め じゃ な い こ が ね の ふ く

4 C7 C<sup>#</sup>dim Dm Dm7/C  
 の 穂 刈 り 入 れ の と き \_\_\_\_\_ イ エ ス  
 い ん や く そ く の と き \_\_\_\_\_ イ エ ス

7 B<sup>b</sup> C7 F/A Gm7 G7/B C7  
 の 十 字 架 の 血 で つ み ゆ る さ れ \_\_\_\_\_ た お  
 の 十 字 架 の 血 で つ み ゆ る さ れ \_\_\_\_\_ た い

11 F F/A B<sup>b</sup>M7 G7/B F/C B<sup>b</sup>/C F/C  
 わ り は は じ ま り よ み が え り さ あ と び ら が  
 の り を む ね に と ど け よ う さ あ と び ら の

14 C7 F B<sup>b</sup>m F  
 \_\_\_\_\_ ひ ら い た \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_ む こ う へ \_\_\_\_\_

© 2021/9 Yoshiko Mitogawa & Tsuyoshi Watatani

## 【編集後記】

今年度より、発行時期を変更させていただきます。コロナ禍で制限を受ける中でも、主の働きは途絶えることなく続けられています。これから内海の活動をお伝えしていきたいと思っておりますので、変わらぬお祈りとご支援をいただきますようお願いいたします。

(編集委員 石塚多美子、

大谷孝志、綿谷剛)

# 福音丸伝道継続事業献金感謝

## 2020年度 献金感謝一覧

団体	教会	教会	教会
厚木幼稚園	厚木教会	大阪神愛教会	大阪新生教会
関東学院小学校	帯広伝道所	カチン平和教会	関東学院教会
関東学院六浦小学校	小豆島教会	松島教会	向島教会
関東学院中・高	山下教会	若葉台集会所	瀬戸田教会
捜真小学校	曾根教会	奈良佐保教会	日ノ本教会
捜真女学校中・高	広島平和教会	土生教会	
日ノ本短大			
日本バプテスト神学校			
氏名	氏名	氏名	氏名
会沢勲・道子	荒川貞雄	生駒桂子	石塚多美子
大矢和男	関田明美	田頭さやか	田辺幹夫
田村義明	丹野真人	藤井勇次	松平季子
丸山康	三浦花子	森内和子	坂田幸代
小野慈美	蟹川京子	国本登美子	小嶋哲子
島田秀子	中本仁一・宣子	人見富美子	福留剛
房野郁子	森島恵	横瀬実	吉田薫
トゥンカンカップ	大谷孝志	益巖	
内海部会以外の団体・教会 30	内海部会教会 5	団体・教会計 35	個人 31
		合計 56	

### 内海伝道団会計報告・予算

項目	2020予算	2020決算	2021予算
収入			
1. 教会・協力団体	250,000	330,920	250,000
2. 個人	250,000	307,000	250,000
3. 利子収入		4	
4. 前年度繰越金	922,531	922,531	1,221,378
収入計	1,422,531	1,550,455	1,721,378
支出			
1. 開拓伝道応援費	200,000	144,447	250,000
2. 諸教会応援費	50,000	50,000	50,000
3. 福音丸新報発行費	26,000	21,024	26,000
4. 福音丸新報送料他経費	38,000	40,020	38,000
5. 振替手数料	6,000	12,591	12,000
6. 事務費	10,000	465	10,000
7. 活動費	50,000	0	50,000
8. ミモザ会費	20,000	20,000	20,000
9. 讚美集発行費	100,000	50,530	0
10. 予備費	922,531	0	1,265,378
支出計	1,422,531	339,977	1,721,378
11. 次年度繰越金	0	1,221,378	0
合計	1,422,531	1,560,455	1,721,378

### 感謝とお願い

瀬戸内海伝道団による福音丸伝道継続事業のためのお祈りと貴重な献金を感謝申し上げます。

内海部会も年々縮小化する傾向にありますが、皆さまのお祈りとお支えにより、21年度は伝道団として各教会に助成金を送ることができました。

御業の一助としての活動ができますことを心より感謝申し上げます。

振込用紙を同封致します。今年もご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。

瀬戸内海伝道団委員長 石塚多美子  
☆献金の送付は、同封の郵便為替用紙または

「瀬戸内海伝道団」  
口座番号 01340-3-11913  
にお願い致します。

開拓応援伝道費は各教会の開拓伝道費(含むコロナ対策)の補助  
諸教会応援費は中島集会所の補助

県	教会名	郵便番号	住所	電話	牧師
香川	小豆島バプテスト教会	761-4121	小豆郡土庄町淵崎甲2071-22	0879-62-2053	井上 正之(代) 中家 京子(補)
広島	向島キリスト教会	722-0073	尾道市向島町16058-22	0848-44-2762	大谷 孝志
広島	土生バプテスト教会	722-2323	尾道市因島土生町1602-1	0845-22-0593	林原 弘
広島	土生バプテスト教会 重井集会所	722-2102	尾道市因島重井町3055	0845-25-0134	(兼)林原 弘
広島	瀬戸田バプテスト教会	722-2411	尾道市瀬戸田町瀬戸田378-1	0845-27-0173	石塚 多美子
愛媛	瀬戸田バプテスト教会 中島集会所	791-4501	松山市中島大浦2107-10		(兼)石塚 多美子
広島	広島平和キリスト教会	731-0101	広島市安佐南区八木3-5-17-10	082-872-1150	トゥン・カン・カップ